

令和7年7月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年7月分について、輸出額は「自動車」「自動車の部分品」などが減少したことから、対前年同月比5.8%の減少となった。また、輸入額は「原粗油」「アルミニウム及び同合金」「液化天然ガス」などが減少したことから、同9.3%の減少となった。

その結果、差引額は7,722億円（同2.7%の減少）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降170カ月（14年2カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

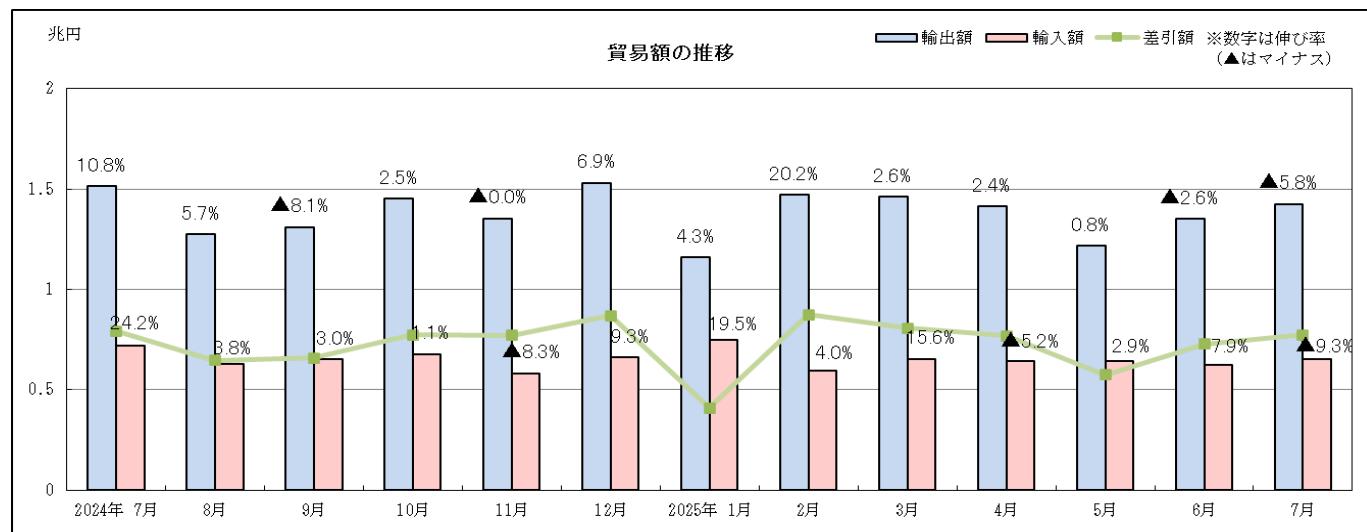
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆4,245億円	▲5.8%	6,523億円	▲9.3%	7,722億円	▲2.7%
	2カ月連続の減少			3カ月ぶりの減少		
	順位 過去9位	7月として2位	順位 過去12位	7月として3位	順位 過去11位	7月として3位
管内（名港シェア）	2兆2,018億円 (64.7%)		1兆1,893億円 (54.8%)		1兆0,125億円 (—)	
全国（名港シェア）	9兆3,591億円 (15.2%)		9兆4,766億円 (6.9%)		▲1,175億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出減(1)	自動車	4,077億円	▲15.4%	▲4.9	2カ月連続の減少
	自動車の部分品	1,766億円	▲8.1%	▲1.0	5カ月連続の減少
輸入減少(1)	原粗油	515億円	▲28.5%	▲2.9	3カ月ぶりの減少
	アルミニウム及び同合金	300億円	▲25.0%	▲1.4	9カ月ぶりの減少
	液化天然ガス	450億円	▲13.8%	▲1.0	4カ月連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。